

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 8 月 29 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200320		
法人名	メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム南観音ひまわり		
所在地	広島市西区南観音6丁目3-31 (電話) 082-295-3717		
自己評価作成日	平成23年2月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200320-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年8月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

集団生活であっても出来る限り一人一人のペースに合わせて生活して頂きながら、食事作り、掃除、洗濯などの日常生活の中でそれぞれの出来る事、やりたい事を見つけ、入居者様と職員が共に行っている。外部との繋がりを重視し、地域行事への参加や外出の機会を積極的に作っている。また、ご家族様には毎月お手紙と、面会時にはカルテに目を通して頂き、何かあればその都度連絡を行いながら、入居者様と一緒に支える体制づくりを行っている。グループホームの行事ではご家族様、入居者様に相談しながら計画し、季節の行事を大切に考えている。ボランティアの受け入れに力をいれ、ご家族様からも情報を頂き、地域の保育園、小学校との交流も検討している。職員教育では看取りの研修会に参加し、マニュアル作成を行った。学んだ事をグループホームに持ちより独自の勉強会も行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、医療法人に属する1階と2階を活用した洋を基調とした建物、2ユニット（定員18名）である。関連法人グループがあり、常に連携及び協力体制がある。ホームでも看護体制が整っているなか、母体も医療機関であり、適切な医療が受けられることにより、入居者及び家族にとっても安心感に繋がっている。職員は、常に初心を忘れない取り組みとして、毎日理念の唱和や毎年度の目標を掲げ、介護の基本姿勢を確認、自己点検を行いながら入居者一人ひとりのペースで生活ができるよう環境調整に努めている。支援に当たる職員も、快活に働かれており、職員同士が協力しあうなか、明るく穏やかな支援に心掛けている。誕生日には特別な日として、本人の要望などを取り入れ、常に入居者が楽しく生活が送れるよう取り組まれている。地域との繋がりを大切にし、地域行事への参加や外出を通じて社会の構成員としての役割を担い、日々の生活でも個々の役割があり、職員と入居者が協力しあう関係づくりが出来ている。入居者が生き生きと生活され、家族団欒な雰囲気であり、居心地良く生活されているのが伺えた。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を掘り下げて話し合いを行い、自分達の言葉で理念をもっとわかりやすくしたケア目標を掲げ、事業所と地域の関係性を重視している。	事業計画及び事業報告を実施しながら振り返りを行っている。法人理念を念頭に置き、理念の達成に向けて毎年度のケア目標を掲げている。職員は朝礼時に理念を確認し、自己点検に努め、日々の支援を実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や買い物などに出かけた際、地域の人達と挨拶を交わしたり、交流の場への積極的な参加を行っている。	町内会長や運営推進会議のメンバーを通じて、情報交換を行うなか、地域との関わりを密に行っている。地域行事が盛んに行われている地域でもあり、ホームとして、孤立しないよう積極的に地域行事にも参加し入居者の方も社会の構成員として担う取り組みをされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症ケアの専門職として、地域行事を通して認知症の人の理解や支援方法を地域の人に伝えている。また実習生、ボランティアの受け入れを積極的におこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催。家族、入居者、町内会長等参加をお願いし、情報交換を行っている。家族会などの行事の際は内容について報告し、意見をもらうようにしている。	2ヶ月に1回開催している。区担当者や家族、町内会長、包括支援センターなどの参加者のもと、活動状況を報告するなか、建設的な意見交換が行われている。参加者との随時連携を取り合い、その中で情報やアドバイスを頂き、入居者の支援及び運営に繋げている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市の主催する研修への積極的な参加を行っている。又行政の動向で分からない事は電話や訪問し教えてもらっている。	市より依頼があれば、認知症介護アドバイザーの研修を開催している。担当者とは、情報交換を行い、常に協力関係を築くよう取組み、サービスの質の向上に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回身体拘束に関する研修を行っている。利用者が外出しそうな時は制止するのではなくさりげなく、声をかけ一緒にいていくなど安全面にも配慮している。</p>	<p>夜間は玄関の施錠をするが、それ以外は開放している。安全面として、センサーチャイムを活用し入居者の場所確認をしている。ホーム建物に関しても関連法人グループ施設を参考にして、ホーム内・外に工夫を凝らしている。関連法人グループの研修を行い、職員一人ひとりが意識しており、その人らしく生活して頂くよう、見守りの支援を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回虐待に関する研修を行っている。入浴時には全身の観察を行い、注意を払っている。職員間で虐待にあたる行為を意識しながら関わっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回権利擁護に関する研修を行い職員の理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>時間をとり納得して頂けるよう説明している。質問、不明な点の有無を必ず聞くようにしている。リスクマネジメントについては対応方針を文章で詳しく説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設入口にご意見箱を設置している。話しやすい雰囲気作りを心掛け、意見や要望は全体カンファレンス、サービス向上委員会で話し合っている。</p>	<p>玄関入り口にご意見箱を設置している。毎月請求時に、ホームでの生活状況用紙や年4回広報誌を送付している。顔馴染みの関係を築くため、家族訪問時には、生の声を聴くよう努力され、状態変化があればその都度連絡している。それらの意見などをミーティングやサービス向上委員会で話し合いを行い、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に1度全体カンファレンスを行っている。欠席者は書類参加にて意見を出してもらい全員が参加できる工夫をしている。	法人内の各事業所が集まる会議に参加し、個々の事業所の内容を把握するなか、ホームとしての位置づけを確認している。内部・外部研修と積極的に行い、人事考課での個人面談を年2回行っている。各種会議などにも管理者が参加し、職員の意見を聞く機会を設け、チームアプローチのもと、入居者支援に心掛けている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	年に2回人事考課を行い個別に目標を立て、面接を行っている。職員同士の人間関係を把握できるように気を配っている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	施設内外の研修への参加を推進している。研修報告書を職員が閲覧できるようにし、研修で得た情報は現場で生かすよう促している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	外部研修で同業者と交流を計りながら良い情報は積極的に取り入れるよう、関連法人グループにて年に2回報告会を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居者様の生活状況など把握している。入居者様の訴えを傾聴し、ご本人が求めていることや不安を理解しようと努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様に安心して頂けるように要望等お聞きし、ご家族様のご苦勞や今までのサービスの利用状況などゆっくり聞く様にしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人やご家族様の想い、状況等を確認し、可能な限り柔軟な対応を行えるように話し合い、説明を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご本人の想いを暮らしの中で理解し、共に支え合える関係を作り、生活の場を大切に考えセッティングし、声かけにも配慮している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人の状況、ホームでの出来事、行事の参加など毎月の手紙と面会時にお知らせしている。毎月1度は介護記録に目を通して頂けるようにしている。本人の誕生日には家族の方に相談し一緒にお祝いができるよう工夫している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族様の協力のもと、馴染みの知人や友人に面会をお願いし、交流がもてるようにしている。馴染みの場所に出掛けられるよう外出計画を立てている。</p>	<p>入居前に出来る限り情報収集を行っている。以前との関係が途切れないよう、個別対応について家族と十分協議している。家族の協力を頂きながら、馴染みの場所に出掛けられるように外出計画及び実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事作り、畑仕事など入居者様数人に声を掛け交流を計りながら行っている。孤立がないように入居者様同士の相性や関係を理解して支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後は、本人家族の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前よりご本人様の希望や思いをお聞きし、把握するように努めている。	個々の日課や生活習慣、生活歴を把握するなか、個別対応をしている。入居者の作品を市内の福祉展へ出展したり、誕生日は、本人にとって特別な日でもあり、行きたいところや食べたい物などを聞き出し希望を叶える取り組みをしている。本人の役割や楽しみごとを見つけ出し、入居者に寄り添い、役割を持って頂くことに心掛けた支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	見学、面接時に情報収集を行い、担当のケアマネにも情報提供をお願いしている。入居後も本人、家族の方からお聞きしたことは職員同士で情報交換し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間の様子を2時間おきに記録に残し、いつもと違う行動や発言は、現状のままを記載し、さらに重要なことは申し送りをおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>3ヶ月ごとに見直しを行い、本人、家族の方の想いを聞き、アセスメントを含めて職員全体でカンファレンスを行っている。</p>	<p>3ヶ月ごとに見直しを実施している。入居時や面会時に家族の意向や希望を把握し、日々の関わりの中から、本人の発言内容も取り入れ、それらを基に現状に即した介護計画を作成及び実施している。より一層、本人の生活が快適となるように、今後のカンファレンスの実施は、家族出席も含めた取り組みを考えている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別ファイルを活用し、ケアの実地状況、ご本人の発言、行動を記録し、その時の気づきも記入した上でカンファレンスでの見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時の状況に応じて上司に相談した上で臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の方と協力関係を築き、地域の周辺の情報を把握しながら、楽しみのある生活につなげるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に1度の定期受診を行っており、主治医には入居中の情報を毎回報告している。体調が変わりがあれば家族に相談した上で受診をしている。必要に応じて家族の方にも職員と共に受診に付き添ってもらっている。</p>	<p>入居時に本人及び家族の意向を聞き、かかりつけ医を決定している。年2回の健康診断の実施や医師の訪問診療を2週間に1回の診察、1週間に1回看護師が訪問され、入居者一人ひとりの健康チェックを行っている。母体が医療機関のこともあり、ホームでも看護体制が整っているなか、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者の方の体調の変化があれば些細なことでも看護職員に報告し、記録をとっている。2週間に1度訪問看護師にも訪問日以外には電話で相談、報告をし指示をもらいながら対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に本人への支援に関する情報を医療機関に提供し、家族とは回復状態等の情報交換をおこないながら退院支援に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人、家族の方の意向を踏まえ主治医と連携をとりながら、対応できるケアについて説明を行なっている。また看取りの研修会に積極的に参加しながら職員が共通意識を持てるようにしている。</p>	<p>開所（平成22年9月）して間もないこともあり、今のところケースは無い状況である。今後ケースがあれば、ホームとして最大限可能な支援を十分に家族と話し合いをもち、職員全員がその対応方針を共有しての支援となる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応についてのマニュアルはあるが、応急処置の訓練は行っていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成し、消防職員、家族の方立ち合いの避難訓練を年に1度と職員、入居者様の訓練を毎月行っている。</p>	<p>災害マニュアルを作成し、消防署の協力を得て、年2回入居者参加のもと防災訓練を実施している。町内会長や近隣職員、関連法人グループからの応援体制あり、常に協力体制ができています。災害は、いつ起こるかわからないので、食料品などの備蓄をホームとして準備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアを心がけており、情報の個別性や守秘義務について理解し責任を持って取扱い、管理を徹底している。	プライバシー保護の研修を開催し、振り返りの機会づくりに努めている。常に入居者の立場になって考え、個人の人格を尊重し、個人情報やプライバシーが保てるように、各職員が配慮している。部屋の鍵や金銭に関しても本人の能力に応じて自己管理して頂いている。個々に合った支援及び声掛けには十分気をつけた対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一人ひとりの状態にあわせ、些細なことでも本人が決定する場面を作るように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、ご本人の思い、その人にあった過ごし方を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	個々の生活習慣に合わせて、化粧やおしゃれを楽しんでもらいその人らしさを表現できるように努めており、共に喜びを感じている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューは入居者様と共に決定できるように声掛けを行っている。自立できる部分を生かし、共に行っている。楽しく、おいしく食事が出来る雰囲気作りに努めている。	訪問歯科の往診や歯科の先生から口腔ケア・嚥下についての勉強会を実施している。病状によっては、関連施設の栄養士との相談により、適切な栄養管理に努め、入居者も能力に応じて配膳、片付けをして頂いている。園庭で取れた食材や嗜好を聞きながら個別対応の食事提供をしている。職員も同じ時間に食べるよう努力され、家族団欒の雰囲気である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	個々の状態に合わせて食事形態，食事を提供している。10時15時20時入浴後には必ず水分を取って頂き，その他にも本人の飲みたい物をその都度確認しながら飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを声かけ，介助を行っている。週に2回はポリドントと週に1度は口腔ケア用品を消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	紙オムツの使用は最終手段とし，紙パンツ，尿取りパットの使用は必要最小限にし，個々の排泄パターンの把握に努め，トイレでの排泄を大切にしている。	個々の日課や排尿・排泄パターンを把握し，声掛けや見守りを行いながら，なるべく紙おしめに頼らない方法を取っている。極力自然排便が出来るように，散歩や体操などを生活習慣として行い，食材の工夫や適宜水分摂取に心掛け便秘予防にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日の排泄記録から便秘気味の方には牛乳を提供したり，食事には食物繊維を取り入れた食事作りを心掛けている。また，身体を動かすことの大切さを常に意識するように心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	日勤帯（10時から16時）ではあるが，入居者様の都合に合わせて，ゆっくり入浴して頂けるよう支援している。	入浴を拒む方への対応として，職員又は家族からの声掛けや時間帯などの変更を行い，柔軟な対応をされている。やむを得ず入浴をされない方への配慮として，足浴の実施や清拭，着替えなどを行い，清潔が保てるようにしている。一人ひとりの希望やペースに応じて柔軟に支援しており，入浴が楽しめるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	生活習慣に違いがあることを認識し、日常生活を支障なく送れる様支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	服薬ファイルの作成や処方された薬の説明書を個人別に整理し職員全員が把握できるようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	個々の生活ペースに合わせて、体調を気に止めながら無理なく出来ることを支援している。ご本人様、ご家族様から情報収集を行い、外出、行事を行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	入居者様の希望にそって、散歩、ドライブ、買物など行事を計画している。	地域行事も盛んな地域であり、ホームとしての外出行事は積極的に実施している。本人の意思を尊重したり、時候やその日の気分や体調に配慮し外出支援を実施している。外出を通じて、地域の皆様との交流が図れるよう機会づくりに努めている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご本人様、ご家族様の希望があれば財布をお預かりし、外出時に本人にお渡ししている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族様に事前に了解を得て本人の希望時には連絡をしている。ご家族様から郵便物が届いた場合は連絡を勧めている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>安全な生活が送れるように歩行スペースに注意をはらっている。季節に応じ生け花や飾りを入居者様と相談しながら行っている。</p>	<p>ホーム建物に関しても関連法人グループを参考にして、建設されたホームである。ホーム内は、居心地良く生活される環境設定となっている。入居者が作成した作品を取り入れ、季節に合わせた模様替えをしている。要所要所の手すりの設置や適宜、ソファが設置されている。居心地良く一人ひとりが我が家のように生活されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルとソファを食堂を背に配置しており、たたみのスペースも設けている。1つの空間で少人数で過ごしていただける場所を数か所作り自由に過ごしていただけるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>安心して生活して頂く為になるべく自宅にあるタンスや本人が大切にしているものを家族の方に協力頂き持ち込んでもらっている。</p>	<p>居住場所が変わることは、本人にとって心理的・精神的にも影響を及ぼす恐れがあるため、入居前に本人及び家族に必要な性を十分説明している。自宅で使っていた家具や小物類を持ち込まれ、新規入居時にも、居心地良く生活出来るよう生活空間に配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自室には表札があり、各居室にカギがついている。希望があればカギは本人に管理してもらっており、プライバシーの保護に注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を念頭においてサービスを実地する為にケア目標を作成し、朝礼の時に唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域で開かれる行事などに町内会長に相談しながら積極的に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内の行事に参加し、入居者様に一緒に接したり、運営推進会議を通して、認知症の方の想いを伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催しご家族様、町内会長、地域包括に活動報告をおこない、意見交換を行っている。職員には朝礼で話をし、議事録でも確認してもらい今後のサービス提供につなげている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	依頼があれば、事業所として積極的に協力している。また介護保険課の担当者に必要なことは報告している。困難事例があれば相談も行う姿勢でいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をテーマに年に2回研修会をおこなっている。また入居の際、ご家族様にも説明している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止をテーマに年に2回研修会をおこない、虐待に対する意識を高めている。事業所内で虐待が起こらないように職員のストレス管理も行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ご家族様に相談を持ちかけられれば対応している。職員の知識の向上の勉強会を関連施設と合同で年に2回行いグループホーム独自で成年後見制度についての勉強会をおこなっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時にご本人様又は、ご家族様にわかりやすく説明を行い、納得された上でおこなっている。不安、疑問点はいつでも聞いて頂くよう声を掛けている。不安が残らない様にその後のフォローにも気を配っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様からの意見は記録に残し、カンファレンスで話し合いを行い、サービス向上委員会で再度検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度全体カンファレンスと問題があれば随時カンファレンスをおこない、職員の意見を聞いている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎週、現場を確認し、管理者より報告を行なっている。必要時にも電話やメールにて報告を行ない指示、アドバイスをしている。又人事考課も取り入れている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	関連法人グループの研修を月に1度、グループホーム内の研修を月に1度行っており、研修後は現場で活かせるような内容になる様に工夫をしている。必要に応じて外部研修にも参加しており、現場にフィードバックできるように研修報告書は職員も回覧するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	関連法人グループのグループホームが5か所あり職員に意見を聞きながら、ホーム長会議にて職員同士の意見交換の場を検討している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様おひとりおひとりに担当をつけ、面接時の情報を確認しながらご本人様の想いを知り、記録することで情報の共有をおこなっている。ご家族様からも情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面接時、見学時の情報を記録に残し、共有している。入居日の夜間と次の日の朝に必ず電話にてご本人様の状況を伝えている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>介護保険制度のサービスについて必要に応じて情報提供し、担当のケアマネに相談しながら話しを勧めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の想いを尊重し意見を聞いてから行動するようにしている。ご本人様の好きな事、得意な事を一緒に行い、共に喜ぶことのできる関係作りを目指している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員は面会時に挨拶だけでなく近況を報告し、月に1度は介護記録を読んで頂き、日々のご様子を知って頂けるようにしている。また、ご家族だけで過ごす時間、職員も含めて過ごす時間の必要性を考え計画、相談している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様から馴染みの場所を伺い外出を計画している。馴染みの人など面会が困難な時は電話で連絡を取ってもらえるようにアプローチしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事やレクリエーションに参加してもらい、入居者様同士の交流を図っている。歩行が不安定な方のお膳を運んだり入居者様がサポートする関係が出来ている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後はご本人様、ご家族様の要望に沿って、法人内の施設や法人外のサービスの情報提供をしている。入院された場合は入居者様と共にお見舞いに行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様、ご家族様から希望をお聞きし、ケアプランに反映させている。意思の伝達が可能な方はカンファレンスにも参加してもらい希望を確認している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面接時にこれまでの暮らしについて情報収集を行っている。入居後も会話の中で情報を得るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子を生活行動記録に記入している。介護が困難な方などは詳細を把握できるように別紙に記録を残す様になっている。カンファレンスで職員間で情報を共有し入居者の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者を中心に3カ月ごとにプランの見直しをおこなっている。本人、家族の意向を反映し作成している。可能であればご本人様、ご家族様に参加してもらっている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>本人の発言、行動を中心に記録し、必要に応じて連絡ノートに記入し、職員間で共有している。カンファレンスで生活行動記録を参考に話し合い介護計画を見直している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>病院受診では急遽の場合などご家族様が同行出来ない場合は職員で対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>入居前の近隣・知人・友人との関係を継続してもらうことで、本人が安心出来るような環境づくりに努めている。入居前からの知人等の面会も重視している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の希望をお聞きし、かかりつけ医を決めている。2週間に1度定期受診し、かかりつけ医との連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>医療連携の看護師、看護職員と情報を共有し、変化があれば、相談し指示をもらっている。必要に応じて臨時受診もおこなっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院の相談員と情報交換を行い、退院に向けての相談を行っている。電話だけでなく直接訪問するようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医に相談しながら、家族の方と重度化した場合の対応について話をしている。必要であれば主治医より説明を行っている。ご本人様、ご家族様の意向をできるだけ尊重できるように代弁も行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>早期発見を心がけ、マニュアルも作成しているが、実践訓練が行えてない。勉強会は年に1度行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>毎月一度夜間、日中どちらかの想定で訓練を行なっている。必要に応じて、消防署職員、家族の方、町内会長にも声を掛けている。地域で行われる訓練があれば参加できるように、情報を頂けるよう声をかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者を人生の先輩として接し、相手の立場に立って声かけを行なっている。職員間でも注意しあえる関係を目指している。又入居者の方の情報は外では漏らさない様に徹底している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向を尊重し、選択できる場面をできるだけ作るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までやってこられた事や好きな事を意識し、可能御な範囲で行えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴時に本人と共に衣類を選んでいる。外出時や行事の時は本人の意思を尊重しながら衣類の助言や提案も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	買物、食事作り、片づけは入居者の方に声を掛け一緒に行なっている。アレルギーや苦手なものに対しては個別におかずを替えて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食、食事量を記録し、摂取量が少ない時など好まれる物を提供したり、おやつで対応している。水分補給は10時と15時と他にも希望を聞きながら、好きなものを提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアが困難な方には見守り、一部介助を行い、週に2回は消毒を行っている。清潔面だけでなく誤嚥を防ぐ為にも口腔ケアの重要性を職員は理解している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>可能な限り布パンツを使用し、汚染確認を行っている。紙パンツを使用している方は布パンツで対応できる時間帯など話し合っている。新人職員はオムツ体験を行い、オムツの不快感を経験してもらっている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便確認と食事に乳製品を取り入れている。散歩、腹部マッサージを実施している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎朝バイタル測定を行ない問題がなければ、時間帯などなるべく本人の希望にて入浴して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	リビングには椅子をおき休息できるようにしている。居室で過ごされている方には可能な限り自分の時間も大切にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が把握できるように一覧表を作り確認しやすくしている。薬の変更があればその都度変更している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居者様おひとりおひとり、出来る事に違いがあり、想いも違う事を念頭に置き、分担して頂きながら家事を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別にやりたい事、行きたい所をお聞きしながら積極的に外出を計画している。季節に応じた外出も意識している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	貴重品や財布は事業所で管理している。買物等で使用する際は職員の付き添いのもと支払いをしてもらっている。おこづかい帳も記載し、不定期ではあるがご家族様に確認して頂いている。金銭の支払いをご本人様にして頂く事の大切さを認識している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>季節のはがきを書いたり、ご本人様の希望があれば電話でお話ができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居様の過ごしやすいように家具の配置に気を配り、外出時に写真を撮り、飾っている。季節に応じた作品作りをおこない貼り出している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>TVの前にソファを配置しており、一人もしくは数人でTVを視聴したり、雑誌、新聞など読んでもらっている。廊下にも椅子を置き談話ができる場所を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>棚、椅子、TV、家族写真など使い慣れたものや近くにあることで安心感につながるものを持参して頂くよう家族の方にも協力頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレの場所が分かりやすいようにフダのようなものを入口につけている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム南観音ひまわり

作成日 平成 24 年 9 月 25 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	プランの更新は定期的に行っているが、内容が誰にでも当てはまるような抽象的な内容になっていることがある。	「この人ならではの」内容がプランに反映できるようになる。	計画作成者によるケアプラン作成についての勉強会を行い、職員の意識改革に努める。担当者会議に家族の参加を定着させ、意見を反映させる。	12ヶ月以内
2	2	地域の行事に参加し挨拶を交わすだけでなく、地域の一員として出来る事をおこないたい。	地域の一員としての役割を持つ。	以前行っていた、散歩時に町内の掃除を行う事を定期的に取り入れる。	6ヶ月以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。